SHARP®

デジタルオーディオプレーヤー

形名
MP-S200
MP-S300

取扱説明書

音楽プレーヤー

ボイスレコーダー

FMトランスミッター

本体設定

パソコン接続

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味 絵表示の一例です。

⚠：この記号は気をつける必要があることを表しています。

⊘：この記号はしてはいけないことを表しています。

❗：この記号はしなければならないことを表しています。

本製品について

⚠ 警告



万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐに電源を切って電池を取り外し、お買いあげの販売店に連絡する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



本体や端子に針金などを差し込まない。

火災・感電・事故・故障の原因になります。

自動車を運転中に操作しない。

運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

安全のため、次の場所には取り付けない。

- エアバッグシステムの動作を妨げる場所
- 運転の妨げになる場所

⚠ 注意



製品を分解・改造しない。

火災・感電・けがの原因になります。

雨が当たる所や、風呂場・台所など水や液体がかかる所、湿気の多い所では使用しない。

火災・事故・故障の原因になります。

油煙や湯気が当たる所では使用しない。

火災・事故・故障の原因になります。

日の当たる自動車内、直射日光の当たる所、火や暖房器具のそばなど、高温(60℃以上)になる所に置かない。

火災・事故の原因になることや、変形・変色することがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂が入りやすい所で使用しない。

発火・故障の原因になることがあります。



使用した後は、必ず本製品の電源を切ってください。

充電器について

⚠ 危険

ニッケル水素電池専用の充電器です。
指定の電池(「トワイセル」HR-4UF)以外は充電しないでください。
乾電池や他の充電式電池を充電すると、液もれ、発熱、破裂することがあります。また、直流電源として使用すると発熱・発火の原因になります。

お手入れの際は充電器(電源プラグ)をコンセントから抜く。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やケガをすることがあります。

充電器を水につけたり、ぬらしたりしない。
また、水にぬれたときは使用しないでください。感電、発熱、発火の原因になります。

プラス・マイナスを逆に充電しない。
電池が使えなくなったり、液もれ、発熱、破裂することがあります。

分解したり、改造したりしない。
発熱、発火、感電、ケガをすることがあります。

決められた電源電圧(交流100〜240ボルト)以外で使用しない。
指定外の電圧で使用すると発熱、発火、感電、ケガの原因になります。

⚠ 警告



充電器に金属などを差し込まない。

感電、発熱、発火の原因になります。



充電器はコンセントに直接接続する。

たこ足配線は加熱し、火災の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、充電器をコンセントから抜く。

落雷により感電や火災の原因になります。

安全のため、小児が充電することを避け、保護者が行う。

使用方法を誤ると感電、破裂することがあります。もし、小児が行う場合は、保護者が正しい使用方法を十分に教え、使用中は正しく使用しているか十分注意してください。

乳幼児の手の届かない所で使用・保管する。

⚠ 注意



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電、ショート、発火の原因になります。

暖房器具など、発熱体の近くで充電や放置をしない。
充電器の変形や電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

重い物をのせたり、落下しやすい所や磁気、ほこりの多い場所に置かない。
ケガ、発熱、発火、電池の液もれ、破裂の原因になります。

市販の「電子変圧器」などに接続しない。
充電器が壊れることがあります。



異常や不具合がおきたときは、すぐにコンセントから抜く。
その後、速やかにお買いあげの販売店にご連絡ください。

周囲温度が5℃～35℃の所で充電する。
範囲外の温度の所での充電は電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

充電時以外はコンセントから抜いて電源プラグを収納する。
プラグを出したままにするとケガの原因になります。

ニッケル水素電池について

電池は誤った使いかたをすると、発熱、破裂、発火、液もれの原因になることがあります。以下のことをお守りください。

⚠ 危険



- 充電池はHR-4UFを使用し、付属の充電器(EA-78)以外で充電しない。
- 付属の充電池(HR-4UF)を他の機器に使用しない。
- プラス“＋”とマイナス“－”の向きを逆にして充電や使用をしない。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライター差し込み口に直接接続しない。
- 火の中に投入したり、加熱しない。
- プラス・マイナス端子をショートさせたり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしない。
- 電池を変形・分解・改造したり、ハンダ付けしたり、⊕部分に設けたガス抜き穴をふさいだりしない。



- もれた液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。

⚠ 警告



- 電池を水や海水などの液体につけたり、端子をぬらしたりしない。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電をやめる。
- 電池を傷つけたり、外装チューブをはがしたりしない。
- 液もれしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいたときは使用しない。



- もれた液が体や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗い流す。
- 幼児の手が届かない所に置く、または保管する。万一、電池を飲み込んだときは、すぐに医師に相談する。

⚠ 注意



- 電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
- 電池を直射日光の当たる所、炎天下の車内やストーブの前面など、高温になる場所では使用・放置しない。
- 電池の端子が汚れたら、乾いた柔らかい布できれいふいてから使用する。
- 電池は5〜35℃の範囲で充電する。電池の温度や周囲温度がこの範囲外では充電しない。
- 長期間機器を使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

乾電池について

電池は誤った使いかたをすると、発熱、破裂、発火、液もれの原因になることがあります。以下のことをお守りください。

⚠ 注意



- プラス“＋”とマイナス“－”の向きを逆にして使用しない。
- 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- もれた液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
- もれた液が体や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗い流す。
- 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
- 長期間機器を使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

ヘッドホンの取り扱いについて

⚠ 警告



事故を防ぐため、次のことを必ず守る

- 自動車やバイク、自転車の運転中はヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

⚠ 注意



ヘッドホンで聞くときは音量の設定に気をつける

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容が変化・消失する場合があります。
録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずコピー(バックアップ)してください。(32、45ページ参照)

ご注意 お客様が録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

もくじ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品本体をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくために次のことは必ずお守りください。

◆ 取り扱いのご注意

持ち運ぶときは

- ズボンのポケットに入れたり、満員電車などで強く押されるような所に入れたりしないでください。
  製品に強い力が加わり、変形や故障、破損の原因になります。

取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

他の機器との接続について

- 本製品に接続して使用する機器の取扱説明書もよくお読みください。また、取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保存しておいてください。

◆ 屋外で使用する場合のご注意

雨天での使用

- 雨天・降雪中など、ぬれる恐れのある場所では使用しないでください。

海辺での使用

- 砂浜や砂地など、砂ぼこりの多い所に置いたり、使用したりしないでください。
  内部に砂などが入ると故障や発火の原因になります。

◆ 使用場所のご注意

日本国内でご使用ください

- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。
  海外ではご使用にならないよう、お願いいたします。

高温や低温の場所では使用しない

- 周囲の温度は0℃～40℃、湿度は30％～80％の範囲内でお使いください。

電磁波の強い場所や機器の近くでは使用しない

•高圧線や携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くで録音すると雑音が入りますので使用しないでください。

病院や飛行機の中では電源をお切りください

•病院や飛行機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、電源をお切りください。
事故の原因になる恐れがあります。

◆ 保管場所のご注意

磁気にご注意

•本製品に磁石・電気時計・磁石を使用したおもちゃなど、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が消えることがあります。

◆ FMトランスミッターについて

本製品の**FMトランスミッター機能は電波法上、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。**このため、

・アンテナの種類や形状
・設置環境（車の場合、車種およびアンテナが設置されている場所）
・周囲環境（車の場合、走行環境を含む）
・混信等の電波環境

などに影響されやすく、ノイズ、音のひずみ、音の途切れ、受信困難などの状況が発生する場合があります。
本製品に同梱のヘッドホンのコードはFMトランスミッター使用時のアンテナを兼ねていますので、ヘッドホンをしっかり接続し、コードを伸ばしてご使用ください。

FMトランスミッター機能は日本の法律に基づき、日本国内で使用されることを前提として設計されています。
海外でのご利用はその国の法律に抵触する場合がありますので、海外ではご利用にならないようにお願いいたします。

◆ 著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなります。また、本製品のFMトランスミッター機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することも、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害するおそれがあります。

上記のような利用方法は、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

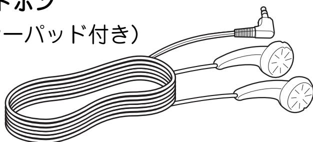
◆ 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Intel、Celeronは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

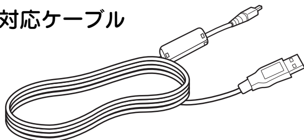
付属品を確認する

本製品には次の付属品がありますので、ご確認ください。

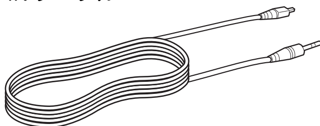
ヘッドホン
（イヤーパッド付き）



USB 対応ケーブル



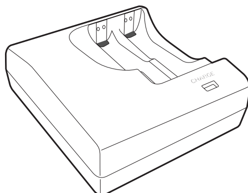
LINE-IN ケーブル



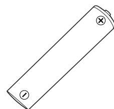
フック



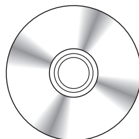
充電器(EA-78)



ニッケル水素電池(HR-4UF)



CD-ROM（Microsoft® Windows® 98 Second Edition 用 USB 対応ドライバ、音楽 CD データ転送ソフト）



取扱説明書（保証書付）
電池ケース

はじめてご使用になるときは

ニッケル水素電池を充電する

本製品は付属のニッケル水素電池(HR-4UF)または市販の単4形アルカリ乾電池で動作します。付属のニッケル水素電池で使用するときは、まず最初に充電してから本製品に取り付けます。充電時間は約150分です。

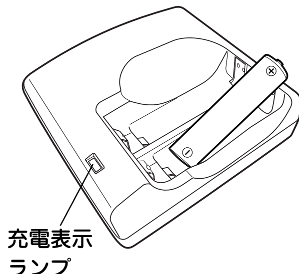
◆ 充電のしかた

- 必ず付属の充電器(EA-78)をお使いください。
- 4～8ページの「充電器について」、「ニッケル水素電池について」もよくお読みください。

1 充電器に付属のニッケル水素電池を入れます。

＋・－をよく確認して正しく入れてください。
充電器は－(マイナス)端子が2段になっていますが、付属のニッケル水素電池は下側の－端子を使用してください。また、2本同時に充電できるようになっていますが、1本充電するときはどちらか片方を使用してください。

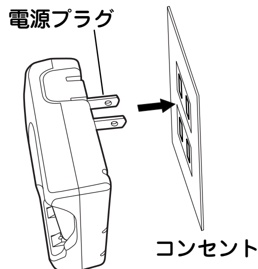
注： 上側のマイナス端子は単3形のニッケル水素電池用の端子ですが、単3形ニッケル水素電池は充電しないでください。また、**HR-4UF以外の電池を充電しないでください。**
なお、市販のアルカリ電池も充電できません。



2 **電源プラグを引き起こして、コンセントに差し込みます。**

充電表示ランプが点灯することを確認してください。

充電が完了すると充電表示ランプが消えます。



3 **充電完了後、充電器をコンセントから抜き、電池を取り出してください。**

4 **電源プラグを倒して収納してください。**

充電表示ランプの見かた

ランプの状態	状況・対応など
点灯	充電中
早い点滅	充電開始後、約20分程度で充電表示ランプが早い点滅をする場合は、電池端子の汚れまたは電池の寿命で充電できない状態が考えられます(電池の判定に、約20分程度かかります)。このときは、 ・充電器および電池の端子をきれいな布などで汚れがないように拭いて、充電してみてください。 ・端子を清掃しても充電できない場合は、新しい電池をご購入・ご使用ください。
ゆっくり点滅	充電器の内部温度上昇のため充電が中断していますが、温度が下がれば充電表示ランプが点灯に変わり、充電を再開します。 使用温度範囲(5～35℃)内で充電してください。
消灯	充電完了

ご注意：

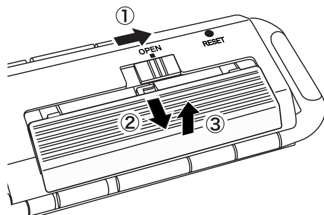
- 6時間以上経過しても充電が完了しないときは、充電をやめてください。
- 通電中は「ジー」という小さな音が聞こえますが故障ではありません。
- 著しく特性が変化した電池を充電すると、安全保護機能が働き充電を中止することがあります。このような場合は、いったん放電し、再度充電してみてください。電池の特性が回復する場合もあります。
- 充電中、充電器や電池があたたかくなりますが異常ではありません。また、充電終了直後には、電池の温度が一時的に高くなっていますので、ご注意ください。
- 充電が完了した電池を続けて充電しないで、本製品で使い切ってから再び充電してください。
- 少なくとも10回に1回程度は、充電式電池を使い切ってから、充電することをお勧め致します。
- 充電中に、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。このような場合は、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- ホットカーペットの上やストーブの全面、直射日光の当たるところ、炎天下の車内など、高温になる場所で充電しないでください。また、毛布などをかぶせた状態で充電しないでください。充電器内蔵の温度保護機能により充電が停止することがあります。この場合は満充電になりません。
- 5℃〜35℃のところで充電してください。

電池を入れる／交換する

本製品は付属のニッケル水素電池または市販の単4形アルカリ乾電池1本で動作します。付属のニッケル水素電池は充電をしてからご使用ください。

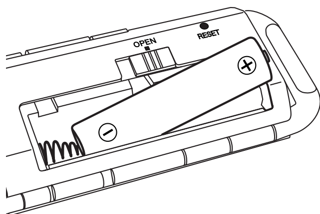
注：電池の交換、取り出しは必ず電源を切ってから行ってください。

◆ 電池の入れかた



1 **電池ぶたロックスイッチを“OPEN”側にします。（矢印①）**

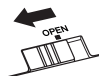
2 **電池ぶたを矢印②の方向に引き、矢印③の方向に外します。**



3 **付属のニッケル水素電池（または市販の単4形アルカリ乾電池）を入れます。**

電池の＋・ーをよく確認して正しく入れてください。

- 本製品および電池の端子をきれいな布などでふいて汚れがないようにして入れてください。汚れていると使用時間が短くなることがあります。



4 **手順1、2と逆の操作で、電池ぶたを取り付け、電池ぶたロックスイッチをロックします。**

- 電池ぶたロックスイッチをロックしないと、電源を入れてもすぐにオフします。

◆ 電池の充電(交換)時期について

電池の残量は、画面右上に表示される電池マークを目安にして、充電(乾電池は交換)してください。

：良好です。

：すこし少なくなりました。

：少なくなりました。充電(交換)することをお勧めします。

：とても少なくなりました。速やかに充電(交換)してください。

◆ 使用している電池

種　類	形 名	個数	備　　考
ニッケル水素電池 単4形	HR-4UF	1本	三洋電機製「トワイセル」
アルカリ乾電池 単4形	LR-03	1本	

指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因になります。

充電池について

充電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります(常温で約500回が目安です)。
充電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。
満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、充電池の寿命ですので交換してください。

充電式電池のリサイクルご協力お願い

充電式電池はニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・(＋)端子と(－)端子にテープを貼る。
  - ・外装カバー(被覆・チューブなど)を剥がさない。
  - ・分解しない。

電源の入れかたと、切りかた

◆ 電源を入れる

1 電源が切れているとき、MENU を約1秒間押します。

電源が入り、モード選択画面が表示されます。



◆ 電源を切る

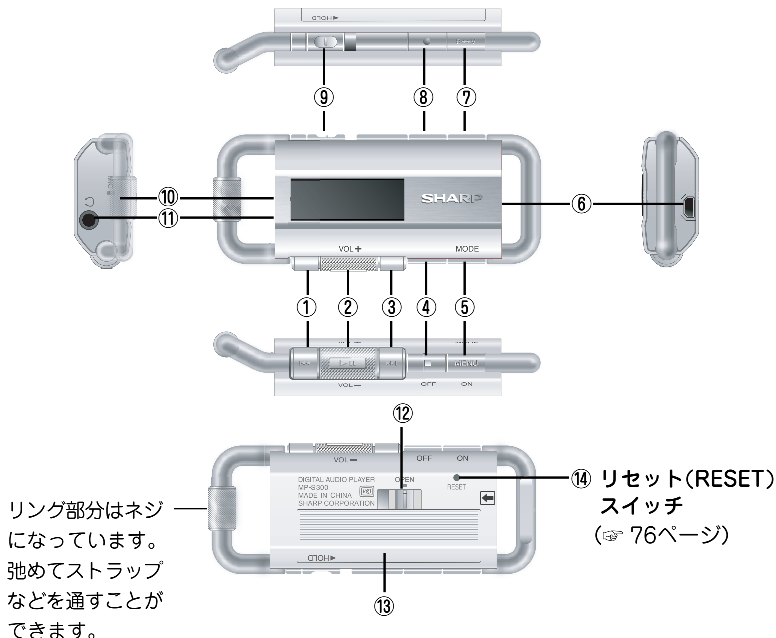
1 電源が入っているとき、■ を約3秒間押します。

電源が切れます。

画面が見えにくいときは

表示部に太陽光などの強い光が当たると、画面が見えにくくなります。このようなときは光を体でさえぎって、表示部に影がかかるようにすると見やすくなります。
また、輝度(コントラスト)を調整してみてください。(☞ 60ページ)

各部のなまえと、おもなはたらき



① **巻き戻しボタン（ |◀◀ ）**

- 再生中に押すと曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押すと、前の曲の先頭に移動します。
  押したままにすると再生中の音楽を巻き戻します。
- メニュー画面やリスト画面で押すと、1つ前のメニュー画面などに戻ります。
- モード選択画面でモードを選ぶときに押します。

② **再生/一時停止/ボリュームボタン（ ▶ ❚❚ ）**

このボタンは、真っ直ぐ押す場合と、回転させるように上または下に動かす場合があり、働きが異なります。

- 音楽などの再生または一時停止をするとき真っ直ぐ押します。
  録音の一時停止や再開をするときも真っ直ぐ押します。
- ボリューム(音量)を調節するとき、音楽などの再生または一時停止中に上または下に動かします。
  動かしたままにすると連続的に切り替わります。
- リスト画面などで、項目を選択するとき上または下に動かします。動かしたままにすると、連続して項目が送られます。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で真っ直ぐ押すと選ばれている項目を決定／実行します。

③ **早送りボタン（ ▶▶| ）**

- 再生中に押すと次の曲の先頭に移動します。
  押したままにすると再生中の音楽を早送りします。
- メニュー画面やリスト画面で押すと、選ばれている項目が決定されます。
- モード選択画面でモードを選ぶときに押します。

④ **停止/電源オフボタン（ ■ ）**

- 再生または録音を停止します。
- 電源を切るとき、約3秒間押します。

⑤ **メニュー/モード/電源オンボタン（MENU）**

- 電源を入れるとき、約1秒間押します。
- 音楽モードやボイスレコーダーモードで、録音中や録音一時停止中以外に押せば、各モードの設定メニュー画面になります。

● 録音中や録音一時停止中以外で、長押しする(約2秒間押す)とモード選択画面になります。

⑥ **LINE-IN/USB 対応ケーブル接続端子**

● パソコンと接続するときに、付属のUSB対応ケーブルを接続します。
● 音楽をダイレクト録音するとき、付属のLINE-INケーブルを接続します。

⑦ **A↔Bボタン(A↔B)**

このボタンの働きは「A↔B ボタン設定」(☞ 42、51ページ)の設定により変わります。

●「AB区間リピート」に設定されているとき、リピート(くり返し再生)区間の設定・解除をするときに使います。
●「再生速度切替」に設定されているとき、音楽などの再生または一時停止中に押すと再生速度が変わります(画面左上で ▶、L▶、H▶ の表示が切り替わります☞ 28ページ)。
● ボイスレコーダーモードで録音リストを表示させるときに使います。

⑧ **録音ボタン(●)**

録音を開始するとき押します。

⑨ **ホールドボタン(スライド式)**

ホールド側にすると本製品のボタン操作を受け付けません。誤ってボタンが押され動作することを防ぎます。解除するときは解除側にしてください。

ホールド側



解除側



⑩ **内蔵マイク**

ボイスレコーダーで音声を録音するとき使用するマイクです。

⑪ **ヘッドホン端子**

付属のヘッドホンを接続します。
ヘッドホンは音楽などを聞く以外に、FMトランスミッター機能のアンテナになります。プラグを奥までしっかりと差し込んでください。

⑫ **電池ぶたロックスイッチ**

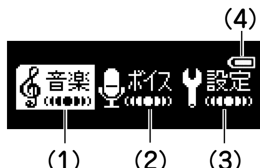
電池ぶたが容易に外れないようにロックします。

⑬ **電池ぶた(電池収納部)**

表示画面の見かた

◆ モード選択画面

MENU を長押しすると表示されます。



▶▶|、|◀◀ でモードアイコン(絵)を選び ▶ II を真っ直ぐ押すと各モードの画面になります。

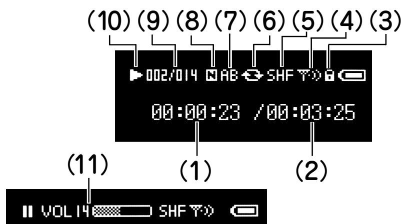
(1) 音楽モード：パソコンから取り込んだ音楽データなどを再生したり、ダイレクト録音したりするモードです。

(2) ボイスレコーダーモード：ボイスレコーダーとして、音声を録音したり再生したりするモードです。

(3) 設定モード：本製品の全体に関係する設定を行うモードです。

(4) 電池マーク：電池の残量の目安を示すマークです(☞ 21ページ)

◆ 再生画面など



音楽などを再生をするときに表示される画面です(ただし、一部省略しています)。

(1) 現時点の再生・録音時間

(2) 曲などの長さ・録音残り時間

(3) ホールド状態

(4) FMトランスミッター送信状態

(5) シャッフル再生状態

(6) リピート再生状態

：1曲リピート

：全曲リピート

(7) A B区間リピート再生状態

(8) イコライザー表示

N：ノーマル　R：ロック

C：クラシック　P：ポップ

B：バス　S：ソフト

(9) 曲番／曲数表示

(10) 動作状態

- ▶ ：再生(普通速度)
- L▶ ：再生(遅い速度)
- H▶ ：再生(速い速度)
- ● ：録音　■ ：停止
- ▮▮ ：一時停止　▶▶ ：早送り
- ◀◀ ：巻戻し

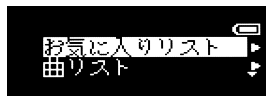
(11) 音量(ボリューム)

▶❚❚ を上または下に動かしたときに表示されます(音量はバーの左の数字で0～30の範囲で調整できます)。

メニュー画面などでの項目の選びかた

本製品を使用する場合、ボタンで操作する以外に、多くの場合はメニュー画面やリスト画面で必要な項目を選んでいきます。

メニュー画面やリスト画面では、▶❚❚ を上または下に動かしてカーソルを移動させて目的の項目を選び、▶❚❚ を真っ直ぐ押して実行(決定)します。
(ボタンの働き：☞ 29ページ)



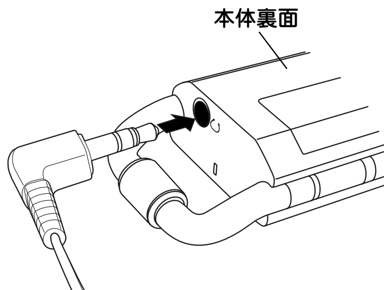
表示項目が多く、画面に表示されていない場合は画面右側に▼や▲が表示されます。このときは ▶❚❚ を上や下に動かしてカーソルを移動させていくことにより、隠れている項目を表示させることができます。

表示画面について

本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを接続するとき、取り外すときは、この製品の電源を切ってから行ってください。

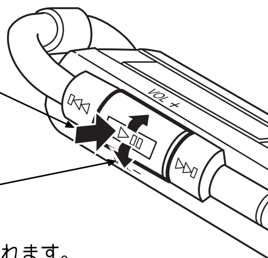


- プラグは奥まで完全に差し込んでください。
- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。

再生/一時停止/ボリュームボタンの働き

真っ直ぐ押す

音楽などの再生や一時停止、メニューなどの選択決定をするときなどは、ボタンを真っ直ぐ押します。



上または下に動かす

メニューや曲リストなどで、項目や曲を選ぶときに上または下に動かしてカーソルを移動させます。
動かしたままにすると連続的に項目や曲が上または下に送られます。
再生画面で音量を調整するときも同じように操作します。

音楽プレーヤーを使う

音楽プレーヤーを使う場合は、本製品に音楽データを入れておく必要があります。音楽データは次の方法で入れることができます。

・CDプレーヤーなどから録音する。

・パソコンに接続し、パソコンから本製品に取り込む。

ここでは、CDプレーヤーなどから直接録音する方法を説明します。パソコンから取り込む方法は63ページ以降をご覧ください。

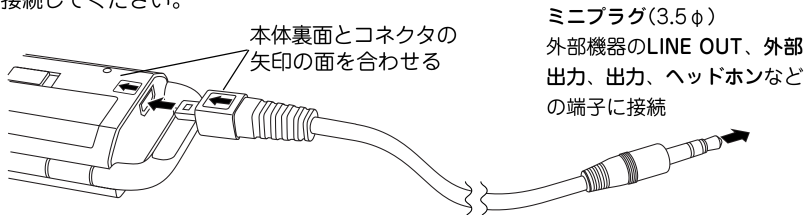
ダイレクト録音をする

付属のLINE-INケーブルでCDプレーヤーなどの外部機器と本製品を接続し、外部機器で音楽を再生しながら録音します。

◆録音の準備

外部機器(音源)と接続する

付属のLINE-INケーブルを使って、本製品と外部機器を接続します。両方の電源を切って接続してください。



● 外部機器の端子が3.5φミニジャック以外の場合は、市販の変換プラグ等をご利用ください。

試し録音と録音レベルの設定をする

大切な録音を行う前に、試し録音をして、録音ができているか、録音レベルが適正か確認・設定を行ってください。

録音レベルが適正に設定されていないと、録音が小さすぎたり、大きすぎて音がわれたり、ひずむことがあります。

また、ケーブルのプラグやコネクタが正しく接続されていないと、雑音が入ったり音が途切れたりします。

外部機器のLINE OUT端子などを使用して、録音レベルを調整しても適正な録音ができない場合は、ヘッドホン端子など、他の出力端子を使用して録音してみてください。

ヘッドホン端子を使用して録音する場合の音量の調節

外部機器にヘッドホンを接続して音を少し大きめに調節した後、付属のLINE-IN ケーブルで外部機器のヘッドホン端子と本製品を接続し、試し録音をして音量を調整してください。

●録音中に音のない部分が約3秒続いたとき、曲の区切りと見なしてファイルに登録していく「シンクロ録音」機能があり、1曲、1曲を別のファイルに登録できます。(☞ 34ページ)

◆録音をする

1 MENU を長押ししてモード選択画面にし、「音楽」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

2 MENU を押します。

音楽モードの設定メニュー画面が表示されます。

3 ▶II を上や下に動かして「録音モード」を選び、▶II を真っ直ぐ押します。

録音モードの待機画面が表示されます。



4 ［●］を押します。

録音がスタートします。

5 外部機器で音楽を再生させます。

- 録音の一時停止／再開は［▶❚❚］で行い、停止するときは［■］を押します。

- **録音した音楽は、音楽モードの録音リストの中から再生することができます。**
- **録音された音楽は「AU001.SZM、AU002.SZM…」と順番にファイル名が付けられて保存されます。**
- **周囲の環境により雑音が入ることがあります。**

参　考

録音中に本製品に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音される音量とは異なります。録音音量を確認するときは、録音した曲などを再生して確認してください。録音レベルの設定方法は33ページをご覧ください。

パソコンへ録音データをバックアップしたい...

録音したデータ(ファイル)をパソコンにバックアップ(保存)するときは、本製品をパソコンに接続し(☞ 63ページ)、「マイコンピュータ」を開いて「リムーバブルディスク」内の「LINE-IN」フォルダから、データをパソコン側へコピーしてください。

- パソコンへコピーしたファイルの日付けは、すべて「2006/01/01 0:00」と表示されます。
- **本製品で録音した音楽データは独自形式で録音されるため、パソコンで再生することはできません。**

◆録音レベルを設定する

録音するときの録音レベル(音の大きさ)を「高」「中」「低」に切り替えることができます。

1 録音モードの待機画面で MENU を押します。
録音設定選択画面が表示されます。



2 「録音レベル」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音レベル選択画面が表示されます。

3 録音レベル(高、中、低)を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音モードの待機画面に戻ります。

◆録音音質を設定する

録音するときの音質を「高」「中」「低」に切り替えることができます。
高音質に設定すると、音は良くなりますが録音できる時間が短くなります。

1 録音モードの待機画面で MENU を押します。
録音設定選択画面が表示されます。

2 「録音音質」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音音質選択画面が表示されます。

3 録音音質(高、中、低)を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音モードの待機画面に戻ります。

録音時の形式、音質は次のようになります。
録音形式：独自形式
音質「高」：128kbps　音質「中」：112kbps　音質「低」：96kbps

◆シンクロ録音を設定する

アルバムなど、何曲か収録されているCDを録音する場合などに、全体を1つの音楽ファイルとして録音するか、曲ごとに別の音楽ファイルとして録音するかを設定します。

オフ：録音開始から ■ を押して止めるまでを1つの録音としてファイルに登録
オン：約3秒間、音のない時間が続いたとき、それまでの録音をファイルに登録

シンクロ録音を「オン」に設定すると、録音中に約3秒間、音のない時間が続いたとき、それまで録音した音楽データをファイルに登録し、それ以降を新たに録音します。

シンクロ録音「オン」時の録音とファイルへの登録



- 無音状態が約30秒続いた場合は、外部機器の再生が終了したものとみなして録音を停止します。

1 録音モードの待機画面で MENU を押します。
録音設定選択画面が表示されます。

2 「シンクロ録音」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
シンクロ録音選択画面が表示されます。

3 シンクロ録音(オン、オフ)を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音モードの待機画面に戻ります。

- 初期設定では「オン」に設定されています。

曲を聞く

● 音楽を聞く場合、**先に他の機器から録音したり、音楽データをパソコンから取り込んだりしておく必要があります。**
先に説明したダイレクト録音か、パソコンと接続する(63ページ)、「音楽などを本製品に取り込む」(66ページ)をご覧のうえ、音楽データを取り込んでください。
本製品は、**WMA形式、MP3形式の音楽データおよびダイレクト録音した音楽データ**を再生することができます。

収録されている曲は下記のリストから再生することができます。

リジューム再生：以前、再生していた曲を先頭から再生します。

パソコンから音楽データを取り込んだり、ダイレクト録音をした直後などでは、以前再生した曲の情報が消えていますので、「リジューム再生」は選択項目に表示されません。

お気に入りリスト：事前に登録しておいた曲を再生します。（お気に入りリストへの登録：☞41ページ）

曲リスト：パソコンから取り込んだ音楽データから、曲名を選んで再生します。

録音リスト：音楽モードでダイレクト録音した音楽データから選んで再生します。（録音：☞ 30ページ）

曲の再生順をお好みの順番にしたいときは、お気に入りリストを利用します。
お気に入りリストでは登録順に並びますので、聞きたい順に登録すれば、その順番で再生することができます。（☞41ページ）

◆曲を聞くときの操作

●ヘッドホンをヘッドホン端子に接続してください。

1 MENU を長押ししてモード選択画面にし、「音楽」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

2 リストを選び ▶II を真っ直ぐ押します。

●「リジューム再生」を選択すると、以前再生していた曲が再生されます。

3 表示されるリストから聞きたい曲を選び ▶II を真っ直ぐ押します。

●パソコンから取り込んだデータは、フォルダにより分類されている場合があります。フォルダ 🗀 がある場合は、それを選んで ▶II を押して開き、曲を選択してください。

選択した曲から、選んだリストに含まれる曲が再生されます。フォルダ内の曲を選んだ場合は、そのフォルダ内の曲が再生されます。ただし、フォルダ内にフォルダがある場合、上記操作では中のフォルダ内の曲は再生されません。中のフォルダ内も含めて曲を再生する場合は、39ページの「再生する」の操作を行ってください。

● 曲名などが長い場合は、自動的にスクロールしながら表示されます。（長すぎる場合は途中までを表示します。）

◆A↔B区間繰り返し再生

●「A↔B ボタン設定」（☞42ページ）が「AB区間リピート」に設定されているとき有効。

1 音楽再生中に、繰り返し開始位置で A↔B を押し（“A”を表示）、くり返し終了位置で A↔B を押します（“B”を表示）。

設定した範囲がくり返し再生されます。

●範囲の設定は、再生を停止するか、A↔Bを押すと解除されます。

◆再生速度を変更する

●「A↔Bボタン設定」(☞42ページ)が「再生速度切替」に設定されているとき有効。

1 音楽再生中や一時停止中にA↔Bを押します。
A↔Bを押すたびに、標準→遅い→速い→標準 と切り替わります。

◆音楽プレーヤーでの操作

音楽プレーヤーでよく使う操作を示します。

●再生停止
■ を押すと音楽の再生を停止し、曲名などのリスト画面に戻ります。

●一時停止／再開
音楽の再生を一時停止するときは ▶II を真っ直ぐ押します。再生を再開するときも ▶II を真っ直ぐ押します。

●早送り
音楽再生中に ▶▶I を押したままにすると曲を早送りします。離すと、その時点から曲を再生します。

●巻き戻し
音楽再生中に I◀◀ を押したままにすると曲を巻き戻します。離すと、その時点から曲を再生します。

●曲の頭出し
音楽再生中に I◀◀ を押すと、その曲の先頭から再生します。

●前曲戻り（前曲頭出し）
曲の先頭付近を再生中に I◀◀ を押すと、前の曲の先頭から再生します。

●次曲飛ばし（次曲頭出し）
音楽再生中に ▶▶I を押すと、次の曲の先頭から再生します。

●音量を上げる・下げる
音量を上げるときは ▶II を上に動かし、下げるときは ▶II を下に動かします。動かしたままにすると連続的に変わります。

設定を変える・データを削除する

音楽モードの設定、お気に入りリストへの追加、データの削除などを行うことができます。

音楽モード設定メニューを表示させる

1 音楽モードの画面で MENU を押します。

音楽モードの設定メニュー画面が表示されます。



注： MENU を押すときに表示されていた画面により、設定メニュー画面に表示される項目が変わる場合があります。

2 ▶II を下または上に動かして項目を選び、▶II を真っ直ぐ押して選択します。

〈設定メニュー項目〉

再生※
EQ(イコライザー)
リピート
シャッフル
お気に入りに追加※
A↔B ボタン設定
録音モード(☞31ページ)
FMトランスミッター(☞53ページ)
削除※

※ 音楽モードのリスト選択画面でリストを選択した後の画面や、音楽再生中の画面で MENU を押したときにのみ設定メニューに表示される項目です(ただし、音楽再生中の画面から設定メニューを表示させたときは「再生」は表示されません)。

再生する

選んだ曲や、選んだフォルダ(🗀)内の曲を再生します。フォルダを選んだ場合、その中にフォルダがあると、中のフォルダ内の曲も含めて再生します。

1 音楽などのリスト画面で曲やフォルダを選んで MENU を押し、「再生」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

選んだ曲または選んだフォルダ内の曲が再生されます。

EQ(イコライザー)を設定する

音楽再生時の音質を次のパターンから選ぶことができます。

ノーマル　ロック　クラシック　ポップ　バス　ソフト

1 音楽モードのリスト選択画面などで MENU を押し、「EQ」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

EQの設定画面が表示されます。

2 設定したい音質パターンを選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

MENU を押したときの画面に戻ります。

リピート(繰り返し再生)を設定する

リピートの設定では次の項目が選択できます。

オフ ： リピート再生を行いません。

1曲 ： 再生を開始した音楽を繰り返し再生します。

全曲 ： 再生を開始すると、その曲が含まれるリストの全曲を順番に、停止するまで繰り返し再生します。

1 音楽モードのリスト選択画面などで MENU を押し、「リピート」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

繰り返し再生の設定画面が表示されます。

2 設定したい再生のしかたを選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

MENU を押したときの画面に戻ります。

シャッフルを設定する

音楽再生時に、リスト(フォルダ)内の音楽データを順番に再生するか、毎回、順番を変えて(ランダムに)再生するかを選ぶことができます。

オフ：順番に再生　　**オン**：順番を変えて再生

1 音楽モードのリスト選択画面などで MENU を押し、「シャッフル」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

シャッフルのオン／オフ設定画面が表示されます。

2 オン／オフを選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

MENU を押したときの画面に戻ります。

お気に入りリストに追加する・削除する

お気に入りリストに曲を追加(登録)または削除します。

お気に入りリストは、本製品に収録されている曲の中から、好きな曲、よく聞く曲などを登録しておき、再生時に選択しやすくするリストです。
お気に入りリストに追加した順にリストが作成されるため、アルバムの再生曲順を変えたいときなどにも利用できます。

曲を追加(登録)する

1 音楽などのリスト画面で、登録したい曲やフォルダを選んで MENU を押し、「お気に入りに追加」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。
お気に入りリストに追加した旨のメッセージが表示されます。

2 ▶II を真っ直ぐ押します。
MENU を押したときの画面に戻ります。

- お気に入りリストには100曲まで登録できます。追加(登録)時に「**これ以上登録できません**」と表示されるときは、リストから不要な曲を削除してください。
- フォルダを選んで登録を行った場合、フォルダ内の曲がお気に入りリストに追加登録されます。フォルダ自体は登録されません。

お気に入りリストから曲を削除(登録を解除)する

1 お気に入りリストで削除したい曲を選んで MENU を押し、「リストから削除」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。
削除の範囲選択画面が表示されます。

削除：MENU を押すときに選ばれていた曲のみを削除します。
すべて削除：お気に入りリストに登録されている曲をすべて削除します。
キャンセル：削除を取りやめます。

2 **削除の範囲を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。**
削除の確認画面が表示されます。

3 **I◀◀ または ▶▶I を押して「はい」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。**
削除（登録の解除）が行われ、リスト画面などに戻ります。

- この操作は、お気に入りリストの登録情報が削除されるのみで、元の音楽データは消去されません。

A↔B ボタンの設定を変える

音楽再生中などの、A↔B ボタンの働き（機能）を設定します。
AB区間リピート：区間繰り返し再生の開始／終了位置を設定するボタンとして働く
再生速度切替：音楽などの再生速度を切り替えるボタンとして働く

1 **音楽モードのリスト選択画面などで MENU を押し、「A↔B ボタン設定」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。**
機能の選択画面が表示されます。

2 **機能を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。**
MENU を押したときの画面に戻ります。

- 初期設定では「AB区間リピート」に設定されています。

曲を削除する

収録されている曲(音楽データ)を次の単位で削除することができます。

1曲　　フォルダごと　　すべて(フォルダを含む全曲)

- この操作で削除した曲(音楽データ)は本製品から完全に消えますので、まちがって消さないように注意してください。
- お気に入りリストでの削除は41ページをご覧ください。

1 音楽リストで削除したい曲を選んで MENU を押します。

- 1曲削除するときは削除する曲を選んで、フォルダを削除するときはフォルダを選んで MENU を押してください。すべてを削除するときは削除したいリスト(録音リスト、曲リスト)を表示させて MENU を押してください。

2 「削除」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

削除の範囲選択画面が表示されます。

削除：MENU を押すときに選ばれていた曲またはフォルダを削除します。

すべて削除：すべての曲を削除します。

キャンセル：削除を取りやめます。

3 削除の範囲を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 I◀◀ または ▶▶I を押して「はい」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。

削除が行われ、リスト画面などに戻ります。

- 曲を再生している画面で削除の操作を行った場合、手順2で「削除の範囲選択画面」は表示されず、手順3の「削除の確認画面」が表示されます。

ボイスレコーダーを使う

ボイスレコーダーとして、音声の録音・再生ができます。

録音をする

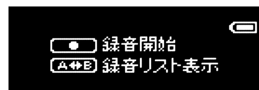
◆録音の準備

本体に内蔵しているマイク(内蔵マイク)を使って録音することができます。
大切な録音を行う前に、**試し録音**をして、録音レベル、録音音質が適正か確認・設定を行ってください(設定方法：☞46ページ)。
音源からの距離や音の大きさに合わせて、録音レベルが適正に設定されていないと、録音が小さすぎたり、大きすぎて音がひずむことがあります。また、周囲環境によって雑音が入りやすくなります。

◆録音の操作

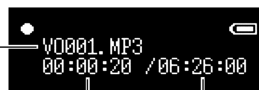
1 **MENU を長押ししてモード選択画面にし、「ボイス」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。**

ボイスレコーダーのメニュー画面になります。



2 **● を押して録音を開始します。**

録音が開始され、録音中画面になります。



ファイル名
録音時間：録音を開始してからの経過時間
残り時間：録音可能な残り時間

3 録音を終了するときは ■ を押します。

ファイル名のリスト(録音リスト)画面になります。

- 録音を一時停止するときや再開するときは ▶II を真っ直ぐ押します。

- **録音されたデータは「VO001.MP3、VO002.MP3…」と順番にファイル名が付けられて保存されます。**

参　考

録音中にヘッドホンで聞こえる音量は、録音される音量とは異なります。録音音量を確認するときは、録音した音声などを再生して確認してください。録音レベルの設定方法は46ページをご覧ください。

パソコンへ録音データをバックアップしたい…

本製品内の録音データ(ファイル)をパソコンにバックアップ(保存)するときは、本製品をパソコンに接続し(☞63ページ)、「マイコンピュータ」を開いて「リムーバブルディスク」内の「VOICE」フォルダから、データをパソコン側へコピーしてください。

- パソコンへコピーしたファイルの日付けは、すべて「2006/01/01 0:00」と表示されます。

◆録音レベルを設定する

録音するときの録音レベル(音の大きさ)を「高」「中」「低」に切り替えることができます。

1 ボイスレコーダーのメニュー画面で MENU を押します。
録音設定選択画面が表示されます。

2 「録音レベル」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音レベル選択画面が表示されます。

3 録音レベル(高、中、低)を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
ボイスレコーダーのメニュー画面に戻ります。

◆録音音質を設定する

録音するときの音質を「高」「中」「低」に切り替えることができます。
高音質に設定すると、音は良くなりますが録音できる時間が短くなります。

1 ボイスレコーダーのメニュー画面で MENU を押します。
録音設定選択画面が表示されます。

2 「録音音質」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
録音音質選択画面が表示されます。

3 録音音質(高、中、低)を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
ボイスレコーダーのメニュー画面に戻ります。

録音時の形式、音質は次のようになります。

録音形式：MP3

音質「高」：128kbps　音質「中」：112kbps　音質「低」：96kbps

録音した音声を再生する

ヘッドホンをヘッドホン端子に接続してください。

1 MENU を長押ししてモード選択画面にし、「ボイス」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

ボイスレコーダーのメニュー画面になります。

2 A↔B を押します。

録音データ(ファイル)のリスト(録音リスト)が表示されます。

3 ファイル名を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

音声が再生されます。

- 再生を止めるときは ■ を押します。再生を停止して録音リストに戻ります。

◆A↔B区間繰り返し再生

●「A↔Bボタン設定」(☞51ページ)が「AB区間リピート」に設定されているとき有効。

1 音声再生中に、繰り返し開始位置で A↔B を押し(“A”を表示)、くり返し終了位置で A↔B を押します(“B”を表示)。

設定した範囲がくり返し再生されます。

●範囲の設定は、再生を停止するか、A↔B を押すと解除されます。

◆再生速度を変更する

●「A↔Bボタン設定」(☞51ページ)が「再生速度切替」に設定されているとき有効。

1 音声再生中や一時停止中にA↔Bを押します。

A↔Bを押すたびに、標準→遅い→速い→標準　と切り替わります。

◆ボイスレコーダーでの操作

ボイスレコーダーでよく使う操作を示します。

●停止(録音・再生)

■を押すと音声の録音や再生を停止します。

●一時停止

音声の録音や再生を一時停止/再開するときは▶IIを押します。

●音量を上げる・下げる

音量を上げるときや下げるときは▶IIを上または下に動かします。動かしたままにすると連続的に変わります。

●その他、再生時の操作などは37ページの「音楽プレーヤーでの操作」も参照ください。

設定を変える・データを削除する

ボイスレコーダーモードの設定やデータの削除などを行うことができます。

ボイスレコーダーモード設定メニューを表示させる

1 MENU を長押ししてモード選択画面にし、「ボイス」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

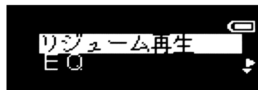
ボイスレコーダーのメニュー画面になります。

2 A↔B を押します。

録音データ(ファイル)のリスト(録音リスト)が表示されます。

3 MENU を押します。

ボイスレコーダーモードの設定メニュー画面が表示されます。



4 ▶II を下または上に動かして項目を選び、▶II を真っ直ぐ押して選択します。

〈設定メニュー項目〉

- リジューム再生※
- EQ(イコライザー)
- リピート
- A↔Bボタン設定
- FMトランスミッター(☞53ページ)
- 削除

※「リジューム再生」は、録音後１回も再生をしていないときは表示されません。

リジューム再生をする

以前、再生していた音声を先頭から再生します。

1 ボイスレコーダーの録音リスト画面で MENU を押し、「リジューム再生」を選んで ▶❚❚ を真っ直ぐ押します。

以前、再生していた音声を先頭から再生します。

- 以前、再生していた音声の情報は、新たな録音を行うと消去されますので、その後再生を行っていないと「リジューム再生」は表示されません。

EQ(イコライザー)を設定する

音声再生時の音質を次のパターンから選ぶことができます。

ノーマル　　ロック　　クラシック　　ポップ　　バス　　ソフト

1 ボイスレコーダーの録音リスト画面で MENU を押し、「EQ」を選んで ▶❚❚ を真っ直ぐ押します。

EQの設定画面が表示されます。

2 設定したい音質パターンを選んで ▶❚❚ を真っ直ぐ押します。

録音リスト画面に戻ります。

リピート(繰り返し再生)を設定する

リピートの設定では次の項目が選択できます。

オフ ： リピート再生を行いません。

1曲 ： 再生を開始した音声を繰り返し再生します。

1 ボイスレコーダーの録音リスト画面で MENU を押し、「リピート」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

繰り返し再生の設定画面が表示されます。

2 設定したい再生のしかたを選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

録音リスト画面に戻ります。

A↔B ボタンの設定を変える

音声再生中などの、A↔B の働き(機能)を設定します。

AB区間リピート：区間繰り返し再生の開始／終了位置を設定するボタンとして働く

再生速度切替：音声などの再生速度を切り替えるボタンとして働く

1 ボイスレコーダーの録音リスト画面で MENU を押し、「A↔B ボタン設定」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

機能の選択画面が表示されます。

2 機能を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

MENU を押したときの画面に戻ります。

- 初期設定では「AB区間リピート」に設定されています。

音声(録音)データを削除する

収録されている音声(録音)データを次の単位で削除することができます。

1データ　　すべて(全音声データ)

- この操作で削除した音声(録音)データは本製品から完全に消えますので、まちがって消さないように注意してください。

1 **録音リストで削除したい音声データを選んで MENU を押します。**

2 **「削除」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。**

削除の範囲選択画面が表示されます。

削除：MENU を押すときに選ばれていた音声データを削除します。

すべて削除：すべての音声データを削除します。

キャンセル：削除を取りやめます。

3 **削除の範囲を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。**

削除の確認画面が表示されます。

4 **I◀◀ または ▶▶I を押して「はい」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。**

削除が行われ、録音リスト画面またはメニュー画面に戻ります。

- 音声を再生している画面で削除の操作を行った場合、手順2で「削除の範囲選択画面」は表示されず、手順3の「削除の確認画面」が表示されます。

FMトランスミッター機能を使う

本製品に収録された音楽ファイルや音声ファイルを再生するとき、FM電波でFMラジオなどのFM受信機に送信することができます。

◆FMトランスミッター機能を使うときのご注意

- FM受信機は近くにないと受信できません。
  FMトランスミッター機能は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。微弱電波はFM放送などの電波を妨害しないように、極めて低い出力で送信される電波ですので、極く近くのFM受信機でのみ受信できます。
- 付属のヘッドホンのコードがアンテナになります。(他のヘッドホンは使用しないでください。)
  必ず付属のヘッドホンを正しく接続し、コードをまっすぐ伸ばしてご使用ください。また、FM受信機とコード(アンテナ)の角度や位置、周囲の環境(近くに金属物や電化製品があるなど)によって受信状態が変わりますので、コードの位置や伸ばす方向などを変えてみてください。
- ご使用のFM受信機によっては、受信状態が良くないことがあります。
- 車載のFM受信機を使用する場合、車種によっては雑音が入ることがあります。

ご注意 本機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することは、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害する恐れがありますので、厳重にお控えください。

送信の操作

FMトランスミッター機能のオン／オフ設定は、音楽モード、ボイスレコーダーモードのそれぞれで行います。

1 送信を行うモードのリスト画面や再生中の画面にします。

音楽モード：リスト画面や再生中の画面

ボイスレコーダーモード：録音リスト画面や再生中の画面

2 MENU を押します。

「EQ」などを選択する設定メニュー画面が 表示されます。

3 「FMトランスミッター」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

オン／オフ選択画面が表示されます。

4 「オン」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

送信周波数選択画面が表示されます。

送信周波数は 85.1MHz～88.9MHz の範囲で、0.2MHz間隔で選択できます。

> ご使用になる地域のFM放送と重ならない周波数を選択してください。

5 ▶II を上または下に動かして周波数を選び、▶II を真っ直ぐ押します。

リスト画面などに戻ります。

6 設定したモードで、音楽などを再生します。

電波が送信されます。

7 FM受信機のFM受信周波数を、手順5で選択した周波数に合わせます。

FM受信機で受信されることを確認してください。

8 受信状況により、受信状態が良くなるようにヘッドホンのコード(アンテナ)の位置や伸ばす方向を変えてみてください。

◆音量を調整する

FM受信機の音量は、FM受信機のボリューム(音量調整)で調整できるほか、本製品のボリューム(音量調整)でも調整できます。

1 FM受信機で、一般のFM放送を受信し、ボリュームを調整します。

2 本製品から音楽などを送信し、FM受信機で受信します。

3 本製品の [▶ II] を上または下に動かして、FM受信機の音量が一般のFM放送を受信したときと同じぐらいになるように調整します。

本製品のボリュームを上げすぎると音がひずむことがありますので、音がひずまない程度にボリュームを下げ、FM受信機で調整してください。

FMトランスミッター機能ご使用上の参考

◎カーラジオで聞く場合

カーラジオは車種により、FM受信感度が大きく異なります。ご利用の車種で雑音が多かったり、受信できない場合は、下記の確認・対応をしてみてください。

1. 車種により、カーラジオのアンテナの位置が異なります。車の取扱説明書や、ディーラーにお問い合わせいただき、アンテナの位置を確認してください。
2. 本製品にヘッドホンを接続してコードを伸ばし、カーラジオのアンテナに、平行になるようにして、できるだけ近くに置きます。（アンテナから遠いと受信状態が悪くなります。）
3. 本製品からの電波をカーラジオで受信し、受信状態を確認します。

◎ラジカセなどオーディオ機器で聞く場合

オーディオ機器のFM受信機は、基本的に微弱電波を受信するようになっていませんので、遠く離れると受信できません。

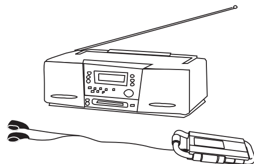
本製品にヘッドホンを接続し、オーディオ機器のアンテナのできるだけ近くに、ヘッドホンのコードを伸ばして置く必要があります。

また、FM受信機にはノイズ除去機能がついている機種があります。この機能は微弱電波をノイズと判断して除去してしまい、本製品から送信した微弱なFM電波をまったく受信しない場合があります。この場合は、別のFM受信機でお試しください。

◆こんなときは

FMトランスミッター機能で送信した音楽などをFM受信機で受信したとき、雑音が多い、モノラルで受信されるなどの状況になる場合は、下記を確認してください。

- 本製品のヘッドホン端子にきちんとヘッドホンが接続されていますか？
  - ➡ ヘッドホンのコードがアンテナになるので、正しく接続しないと電波が送信されません。
- ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか？
  - ➡ コードが丸まっていたり、折りたたまれていると、電波は弱くなります。
- ヘッドホンとオーディオ機器やカーラジオの位置関係は適切ですか？
  - ➡ ヘッドホンとFM受信機のアンテナの方向は平行になるようにすると受信しやすくなります。また、距離はできるだけ近づけてください。



- FMトランスミッターの送信周波数やFM受信機の周波数は適切ですか？
  - ➡ 送信周波数と受信周波数を合わせないと正しく受信できません。
    また、FM放送局に近い周波数を選択すると雑音が多くなることがあります。
    この場合は、送信/受信周波数を変えて、より影響の少ない周波数をお選びください。
- 本製品のボリュームは適切ですか？
  - ➡ FMトランスミッター機能で発信する音量は、本製品のボリュームで調節できます。
    FM受信機で大きな音を出していないのに音が割れたり、歪んで聞こえる場合は、[▶❚❚] で本製品のボリュームを下げてみてください。

製品全体に関わる設定をする

本製品を使いやすくするための各種の設定(本体設定)を行います。

〈設定項目〉

- オートパワーオフ
- スリープタイマー
- 省電力設定
- コントラスト
- フェードインボリューム
- 設定の初期化
- 製品情報

本体設定メニューを表示させる

1 モード選択画面で「設定」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

設定モードのメニュー画面が表示されます。



2 ▶II を下または上に動かして項目を選び、▶II を真っ直ぐ押して選択します。

オートパワーオフの設定

再生や録音を行っていないとき、ボタン操作がないと自動的に電源が切れる、オートパワーオフ時間を設定します。

オフ：オートパワーオフ機能が働かない

1分、2分、3分、4分、5分：それぞれの時間が経過すると電源オフ

- 録音・再生中はオートパワーオフ機能は働きません。

1 本体設定メニューで「オートパワーオフ」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
オートパワーオフの設定画面が表示されます。

2 時間などを選んで ▶II を真っ直ぐ押します。
本体設定メニューに戻ります。

スリープタイマーの設定

音楽などの再生中に自動的に電源を切るスリープタイマーを設定します。

オフ：スリープタイマーは働かない

30分、45分、60分、75分、90分：それぞれの時間が経過すると電源オフ

- 電源を切るとスリープタイマーの設定は解除されます("オフ"になります)。

1 本体設定メニューで「スリープタイマー」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
スリープタイマーの設定画面が表示されます。

2 時間などを選んで ▶II を真っ直ぐ押します。
本体設定メニューに戻ります。

省電力設定

再生画面において、約10秒間ボタン操作がないとき、次の表示になるよう設定をすることができます。

通常モード：通常のリスト表示や再生表示を行います。

省電力モード：次にボタン操作があるまで簡単なマークなどの表示を行います。

スクリーンオフ：次にボタン操作があるまで表示を消します。

1 本体設定メニューで「省電力設定」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。

省電力設定画面が表示されます。

2 表示方法を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。

本体設定メニューに戻ります。

コントラストの調整

画面の輝度(コントラスト)を調整します。見易い明るさになるよう調整してください。

1 本体設定メニューで「コントラスト」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。

コントラストの調整画面が表示されます。

2 ▶II を下または上に動かして輝度を調整します。

- ▶II を下または上に動かしたままにすると連続的に輝度が変わります。

3 ▶II を真っ直ぐ押して調整を終了します。

本体設定メニューに戻ります。

フェードインボリュームの設定

急に大音量が出て耳を痛めることを防ぐため、電源を入れた後、最初に音が出るときに徐々に音を大きくしていくフェードインボリューム機能をオン／オフします。

1 本体設定メニューで「フェードインボリューム」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
フェードインボリュームの設定画面が表示されます。

2 「オン」または「オフ」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
本体設定メニューに戻ります。

設定の初期化

各コンテンツの設定も含めて本体設定をすべて最初の状態に戻します（お気に入りリストは除く）。

1 本体設定メニューで「設定の初期化」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。
設定の初期化選択画面が表示されます。

2 「リセット」を選んで ▶II を真っ直ぐ押します。
本体設定メニューに戻ります。

製品情報の確認

製品のバージョン情報、メモリ使用状況、ファイルの数を確認することができます。

1 本体設定メニューで「製品情報」を選び ▶II を真っ直ぐ押します。

製品情報画面が表示されます。

2 ▶II を下または上に動かして内容を確認します。確認後 ▶II を真っ直ぐ押します。

本体設定メニューに戻ります。

パソコンに接続する

パソコンに本製品を接続し、パソコンから音楽データを取り込んだり、本製品で録音したデータをパソコンにバックアップすることができます。

必要なパソコンのシステム構成

本製品を接続して音楽データなどを取り込む(コピーする)などの操作に必要なパソコンのシステム構成は次のとおりです。

対応機種　：IBM PC/AT互換機
OS　　　　：Microsoft® Windows® XP Home Edition
　　　　　　Microsoft® Windows® XP Professional
　　　　　　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　　　　　　Microsoft® Windows® Millennium Edition
　　　　　　Microsoft® Windows® 98 Second Edition
その他　　：USBインタフェース、CD-ROMドライブ

OSが **Microsoft® Windows® 98 Second Edition の場合は**、付属のCD-ROMに収録されている USB 対応ドライバをインストール(☞ 75ページ)してから、パソコンに接続してください。

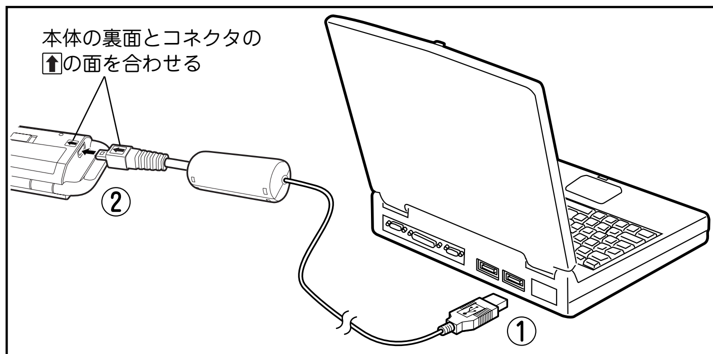
パソコンに接続する／取り外す

接続する

パソコンが起動している状態で、付属のUSB対応ケーブルを図の ① ② の順番で本製品とパソコンに接続します。

本製品に差し込むときは、本製品の裏面とコネクタの矢印(⬆)がある面を合わせて差し込んでください。

パソコンに接続すると本製品の画面が **LINK画面**(接続中画面)になります。



- USBコネクタが入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。無理に差し込むと故障の原因になります。
- データ転送中はUSBケーブルを抜かないでください。本製品内のすべてのデータが壊れることがあります。
- LINK画面になっているときは、本製品のすべてのボタンが働きませんので、ボタンを操作しないでください。

取り外す

パソコンから安全に取り外すために、以下の手順を行います。
(Microsoft® Windows® XP Home Editionを例に説明しています。それ以外のOSをお使いの際は、操作が一部異なります。市販の解説書を参照してください。)

1 パソコン上のタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックします。



2 本製品に該当する「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリックし、[停止]ボタンをクリックします。

3 「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

4 [閉じる]ボタンをクリックします。

パソコンから本製品を取り外してください。

●パソコンから取り外すと、本製品の電源はオフになります。

● 本製品からUSBコネクタを抜いたとき、ごく稀に本製品の画面がLINK画面のままになることがあります。そのときは、本製品の裏面にある**RESET**スイッチをボールペンなどで押してから **MENU** を押し、電源を入れてください。

音楽などを本製品に取り込む

パソコンを使ってCDなどの音楽を本製品に取り込む方法を説明します。

音楽CDデータ転送ソフトを利用する

音楽CDデータ転送ソフトは、できるだけ簡単な操作でCDに収録されている音楽データを本製品に取り込むためのソフトです。

◆音楽CDデータ転送ソフト使用に必要なシステム構成

対応機種：IBM PC/AT互換機

OS： Microsoft® Windows® XP Home Edition
　　 Microsoft® Windows® XP Professional

CPU：Intel® Celeron® 500MHz以上

HDD：20MB以上の空き容量

メモリ：128MB以上

ディスプレイ：SVGA(800×600ドット)以上、および、ハイカラー(65,536色)以上の解像度を持つカラーディスプレイ

その他：USBインタフェース、CD-ROMドライブ、マウス、
　　Microsoft® Windows Media® Player10
　　Adobe® Acrobat® Reader™ または Adobe®Reader™

◆音楽CDデータ転送ソフトのインストール

- Microsoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional 以外のOSではインストールできません。

1 パソコンのCDドライブに付属のCD-ROMをセットします。

自動的にプログラムが起動し、右の画面が表示されます。



プログラムが自動的に起動しない場合は、エクスプローラからCD-ROMを開き「installer.exe」ファイルを実行してください。

2 画面内の「音楽CDデータ転送ソフトのインストール」ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。
- 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。
- インストールが完了したら[完了]をクリックします。

注：音楽CDデータ転送ソフトは Windows Media® Player 10を利用してデータの読み取り、転送（同期）を行いますので、本転送ソフトを使用する場合は Windows Media® Player 10がインストールされている必要があります。
Windows Media® Player 10がインストールされていない場合は「Windows Media® Player のダウンロード」ボタンをクリックして Windows Media® Player 10をダウンロードし、インストールしてください。

◆音楽CDのデータを本製品に取り込む

インストールした音楽CDデータ転送ソフトを使用して、音楽CDの内容を本製品に取り込みます。

1 パソコンのデスクトップに作られている「音楽CDデータ転送ソフト」アイコンをダブルクリックします。



音楽CDデータ転送ソフトが起動し、メイン画面が表示されます。



2 パソコンと本製品を接続します。（☞ 64ページ）

3 音楽CDをパソコンのCDドライブにセットします。

パソコンがインターネットに接続されている場合、音楽CDのアルバム名や曲のタイトル、アーティスト名などの情報がメイン画面に表示されます。

4 メイン画面の[転送（同期）]ボタンをクリックします。

音楽CD内の音楽データがパソコンに取り込まれた後、パソコンから本製品に転送されます。（進行状況を示す画面が表示されます。）

5 転送が終了したら、[閉じる]ボタンをクリックしてソフトを終了し、パソコンから本製品を取り外します。（☞ 65ページ）

注：コピー防止機能を持ったCDは取り込むことができません。

音楽CDデータ転送ソフトの使いかたは、付属のCD-ROMに収録されているマニュアル「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をご覧ください。

- 音楽CDデータ転送ソフトのマニュアルは、スタートメニュー→すべてのプログラム→SHARP 音楽CDデータ転送ソフト→マニュアルと選んで表示させます。マニュアルを見るにはAdobe® Acrobat® Reader™ (Adobe® Reader™)が必要です。必要に応じアドビシステムズ社のサイトよりダウンロードしてインストールしてください。

Microsoft® Windows Media® Playerを利用する

Microsoft® Windows Media® Player 10 を利用して、音楽CDからパソコンに音楽データを取り込み、本製品に転送(同期)します。

◆音楽CDから音楽データをパソコンに取り込む

1 **パソコンで Microsoft® Windows Media® Player 10を起動させます。**

2 **音楽CDをパソコンのCDドライブにセットします。**

3 **「取り込み」タブをクリックします。**

4 **取り込みたい曲を選択して「音楽の取り込み」ボタンをクリックします。**

パソコンへの取り込みが開始されます。

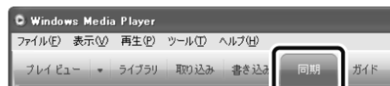
- インターネットに接続された状態にすると、アルバム名や、アーティスト名などが自動的に表示されます。
- 取り込んだ曲は、「ライブラリ」タブをクリックして確認することができます。
- 取り込みの方法等、詳しくはヘルプや市販の解説書などを参照してください。
- コピー防止機能を持ったCDは取り込むことができません。
- 著作権保護のため、CDの音楽データを取り込む際は複製を制限する設定を行ってください。
  詳しくは市販の解説書を参照してください。

◆音楽データを本製品に転送する

Microsoft® Windows Media® Player 10 の同期機能などを利用して、パソコンから本製品へ音楽データを転送します。

1 パソコンで Microsoft® Windows Media® Player 10 を起動させます。

2 [同期]タブをクリックします。



3 「再生リストの編集」ボタンをクリックします。

再生リストの編集画面が表示されます。

4 本製品に転送したい音楽データを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

5 フォルダ階層を作って同期(転送)するため、設定をし直します。

①「同期」タブ画面にある「プロパティと設定を表示します」ボタンをクリックします。

②「リムーバブルディスクのプロパティ」で、「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックがついているときは、チェックを外します。
③「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。
④もう一度手順①を行います。
⑤「リムーバブルディスクのプロパティ」で、「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックを入れます。
⑥「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。

- 手順②〜④の操作は、「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックがついていても機能が働かない場合があるために行う操作です。チェックが付いていない場合は、手順⑤、⑥の操作でチェックをつけてください。



「プロパティと設定を表示します」ボタン



「デバイスにフォルダ階層を作成する」チェックボックス

6 「同期の開始」ボタンをクリックします。

選択した音楽データが本製品に転送されます。

Microsoft® Windows Media® Player 9を使用する場合のご注意

Microsoft® Windows® XP 以外の Windows OS の場合は、 Microsoft® Windows Media® Player 9 を使って音楽データを転送することができます。転送の方法は市販の解説書を参考にしてください。
なお、Microsoft® Windows Media® Player 9 をご使用の場合は次の点にご注意ください。

- 音楽ファイルはファイル名によって並べ替えられますので、必要な方はファイル名を変更してください。
- 指定したフォルダの下に階層を作らずに転送(同期)しますので、必要に応じてアルバム名、アーティスト名などのフォルダ作ってファイルを移動させて分類してください。

ファイルコピーの操作でデータなどをコピーする

本製品をパソコンに接続すると、パソコンのUSB外部ドライブ(リムーバブルディスク)として認識され、パソコンから本製品にファイル(データ)をコピーすることができます。

1 本製品をパソコンに接続し、「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

2 「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

3 必要なファイルを「リムーバブルディスク」の中にコピーします。

- この方法で音楽データ(MP3など)をコピーすることができますが、著作権を侵害する恐れがありますので、Microsoft® Windows Media® Player 10 などをお使いになることをお勧めします。
- ファイルは「リムーバブルディスク」(ROOT)内に直接、またはフォルダを作成してコピーしてください。
  「LINE-IN」、「VOICE」、「SYSTEM」フォルダにはコピーしないでください。
  フォルダ構成については、77ページを参照ください。
- 著作権保護がかけられているデータはファイルコピーの操作によりコピーを行っても再生できません。

音楽配信サイトからの音楽の購入について

本製品は、音楽配信サイトから購入した音楽データを取り込んで聞くことができます。

音楽配信サイトから音楽データを購入される際は、次の事項にご注意ください。
- WMA形式の音楽ファイルを配信しているサイトをご利用ください。
- WMA形式以外で配信されている音楽データは、本製品では再生できません。（WMA形式以外で配信されている音楽データを、WMA形式に変換することもできません。）

なお、音楽配信サイトからの購入方法やダウンロードのしかたなどは、音楽配信サイトの情報を参照ください。

購入した音楽データを本製品で聞くためには、Microsoft® Windows Media® Player10などを利用して、本製品へ音楽データをコピーします。

1 **パソコンで、Microsoft® Windows Media® Player10 を起動します。**

2 **[ライブラリ]タブをクリックします。**

3 **画面左下の[ライブラリに追加]をクリックし、表示されるメニューから[ファイルまたは再生リストを追加]を選択します。**

4 **購入した音楽データを指定して、[開く]をクリックします。**

5 **「同期」でデータを本製品に転送します。****（☞ 70ページ）**

USB対応ドライバをインストールする

Microsoft® Windows® 98 Second Edition をお使いの場合にのみインストールしてください。他のOSをご使用の場合はインストールしないでください。

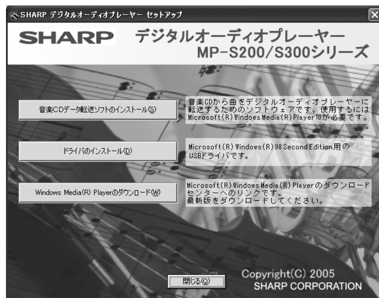
◆ドライバのインストール

ドライバをインストールする前に本製品をパソコンに接続しないでください。

1 パソコンのCDドライブに付属のCD-ROMをセットします。

自動的にプログラムが起動し、右の画面が表示されます。

プログラムが自動的に起動しない場合は、エクスプローラからCD-ROMを開き「installer.exe」ファイルを実行してください。



2 画面内の「ドライバのインストール」ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

- 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。
- インストールが完了したら「完了」をクリックします。

インストールした後は、必要に応じてパソコンを再起動させてください。

参考にしていただきたいこと

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなど、ごくまれにすべてのボタンが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。
このときは、本製品の裏面にあるRESET(リセット)スイッチをボールペンなどで押して離したあと、MENU を押してください。

- RESETスイッチを押しただけでは、表示は変わりません。

ご購入直後の状態(初期状態)に戻したいときは

パソコンで本製品のメモリをフォーマットします。メモリをフォーマットすると本製品内のすべてのデータが消去されます。設定も初期状態に戻ります。

1 **本製品とパソコンを接続します。**

2 **「マイ コンピュータ」をダブルクリックします。**

3 **本製品に該当する「リムーバブルディスク」を右クリックし、「フォーマット」を選びます。**

4 **「ファイルシステム」の「FAT32」を選び、「開始」をクリックします。**

- 「FAT32」以外は選ばないでください。
- Windows® 98 Second Edition および Windows® Millennium Edition では、「ファイルシステム」の「FAT32」は表示されません。
  そのまま「開始」をクリックしてください。

5 「閉じる」ボタンをクリックします。

6 本製品をパソコンから取りはずします。

7 MENU を押して本製品の電源を入れます。

フォーマットの対象が本製品であることをよく確認してから実行してください。誤って、他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なファイルを消すことになりますのでご注意ください。

パソコン接続時のフォルダ構成について

本製品をパソコンに接続すると、Windows上では、下記のようなフォルダが保存されたリムーバブルディスクとして見えます。

………リムーバブルディスク(ROOT)
…「LINE-IN」フォルダ
…「SYSTEM」フォルダ
…「VOICE」フォルダ
…音楽データの入ったフォルダ
⋮
♪ … 音楽データ
⋮

「LINE-IN」フォルダ：ダイレクト録音した音楽データが入ります。

「SYSTEM」フォルダ：このフォルダは、本製品のシステムが使用し、各種設定情報、管理情報が格納されます。

「VOICE」フォルダ：ボイスレコーダーで録音した、録音データ(ファイル)が入ります。

これらのフォルダの名前は変更しないでください。また、これらのフォルダに音楽データ(ファイル)を入れないでください。

音楽データが入ったフォルダや音楽データは、「曲リスト」から選択することができます。

Microsoft® Windows Media® Player 10 で同期をしたり、音楽CDデータ転送ソフトで転送した場合、MUSICフォルダの中に(MUSICフォルダがなければ作成してその中に)、アーティスト名フォルダが作られ、その中にアルバム名フォルダが作られて、音楽ファイルが入ります。
(☞ 音楽などを本製品に取り込む方法は66ページを参照ください。)

仕　様

本体

形名	MP-S200	MP-S300
品名	デジタルオーディオプレーヤー	
内蔵メモリ	512MB（ユーザー領域：約486MB）	1GB（ユーザー領域：約987MB）
入出力端子	ヘッドホン端子（φ3.5）、専用ミニUSB端子（LINE-IN端子兼用）	
対応ファイル	ファイル形式 WMA、MP3（ダイレクト録音は独自形式）	
取扱ファイル数	最大400ファイル	
取扱フォルダ数	最大50フォルダ（階層は20段まで）	
最大録音時間※1	約 10時間 （録音条件 録音音質：低（96kbps））	約 20時間 （録音条件 録音音質：低（96kbps））
FMトランスミッター送信可能周波数	85.1MHz～88.9MHzの範囲で0.2MHz間隔で設定可能	
使用温度	0℃～40℃	
ヘッドホン最大出力	5mW	
使用電源	1.2V（DC）：ニッケル水素電池HR-4UF（Min. 840mAh） 1本 1.5V（DC）：単4形アルカリ乾電池LR-03 1本	
消費電力	0.6W	
外形寸法	幅36mm×奥行き87.1mm×厚さ15.2mm	
質量	約 52g（電池含む）	
付属品	充電器（EA-78）、ニッケル水素電池（HR-4UF）、ヘッドホン（イヤーパッド付き）、USB対応ケーブル、LINE-INケーブル、CD-ROM、フック、電池ケース、取扱説明書、お客様ご相談窓口のご案内	

※1： 最大録音時間はメモリのユーザー領域をすべて録音に使用した場合です。

充電1回(乾電池1 本)あたりの再生可能時間・録音可能時間

	ファイル形式	ニッケル水素電池(HR-4UF)使用時	アルカリ乾電池(LR-03)使用時
再生時間1 (FMトランスミッター:オフ)	MP3	約 12時間	約 14.5時間
	WMA	約 9.5時間	約 10時間
再生時間2 (FMトランスミッター:オン)	MP3	約 5時間	約 4時間
	WMA	約 4.5時間	約 3.5時間
	再生条件: 音量: 15、EQ: ノーマル、使用温度: 25℃、省電力設定: スクリーンオフ、連続再生		
録音時間 (ダイレクト/ボイスレコーダー)	MP3 WMA	約 3時間	約 1.5時間
	録音条件: 録音レベル: 中、録音音質: 中		

※ 使用環境や使用方法により、再生時間、録音時間が短くなることがあります。

充電器(EA-78)

入力電源	AC100〜240V 50/60Hz	**外形寸法**	70.5×74.5×27.5mm
定格出力	DC1.2V 単4形 380mA×2	**質量**	約83g(電池別)
充電時間	約150分(HR-4UF充電時)	**使用温度**	5℃〜35℃

付属ケーブル

USB対応ケーブル	約145cm
LINE-INケーブル	約145cm
ヘッドホン	約115cm

各モードのステレオ／モノラル録音について

	音楽(LINE-IN)	ボイスレコーダー(内蔵マイク)
録音チャンネル	ステレオ録音※2	モノラル録音

※2： 外部音源がステレオ再生されているときのみ。

各モードの録音初期設定値

	音楽(LINE-IN)	ボイスレコーダー
録音音質	高	中
録音レベル	中	中

録音音質と録音時間について

録音音質	高(128kbps)	中(112kbps)	低(96kbps)
MP-S200	約7時間30分	約8時間30分	約10時間
MP-S300	約15時間	約17時間	約20時間

- サポートページではさまざまな情報を掲載しています。下記URLにアクセスしていただきご確認ください。

  http://www.sharp.co.jp/support/mp/index.html

- ファームウェアのバージョンアップについて

  ファームウェアをバージョンアップすることで本製品の機能を改善できることがあります。

  最新の情報がないか上記のサポートページをご確認ください。

アフターサービスについて

保証について

1. **この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。**
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. **保証期間は、お買いあげの日から1年間です。**
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. **保証期間後の修理は…**
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を**お持込み**のうえ、修理をお申しつけください。
   ご自分での修理はしないでください。
2. **アフターサービスについてわからないことは･･･**
   お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、82ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	●電池が消耗していませんか？ 充電したニッケル水素電池またはアルカリ乾電池と交換して電源を入れてください。（20ページ）
自動的に表示が消える	●省電力設定で「スクリーンオフ」に設定されていませんか？（60ページ）
ボタンを押しても動作しない。電源を入れても、すぐにオフしてしまう	● HOLD ボタンがホールド側になっていませんか？ ホールド側になっていると他のボタンが働きません。また、電源を入れてもすぐに電源オフの状態に戻ります。 ●電池ぶたロックスイッチが“OPEN”側になっていませんか？ このときも、すぐに電源オフの状態に戻ります。
音が出ない	●ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ ●音量が最小になっていませんか？ ●転送したデータのファイル形式は正しいですか？（35ページ） ●著作権違反のデータではありませんか？ 曲の入手元、本製品への転送手段を確認してください。（66ページ）

こんなときは	ここをお確かめください
録音できない	●メモリ残量が不足状態になっていませんか？ 不要なデータを削除してください。
FMトランスミッターで送信できない	●ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ ●ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか？ ●ヘッドホンとFM受信機の位置は適切ですか？ ヘッドホンとFM受信機のアンテナの方向を平行にし、近づけてください。 ●FMトランスミッターは「オン」になっていますか？ ●妨害電波を発生するものが近くにありませんか？ ●本製品の音量は適切になっていますか？ ●FM電波を遮断するような障害物がありませんか？ アンテナ(ヘッドホン)の方向を変えてみてください。 ●本製品のFMトランスミッター送信レベルは、電波法で規定された微弱電波になっています。受信しているFM受信機を、より感度の高いものに変えてみてください。また本製品とFM受信機は、できるだけ近づけてください。 ●FM受信機のノイズ除去機能が働いていませんか？ 別のFM受信機で試してみてください。 ●FM放送局に近い周波数を選んでいませんか？ 送信/受信周波数を変えて、影響の少ない周波数を選んでください。

こんなときは	ここをお確かめください
FMトランスミッター送信でノイズ音が発生する	●ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ ●FM電波を妨害するような電波発生機器や電波を遮断するようなものがありませんか？ アンテナ(ヘッドホン)の方向を変えてみてください。 ●金属に近づけたり、金属の机の上に置いていませんか？
FMトランスミッター送信で音がきこえない/音が歪む	●本製品の音量が小さい／大きい可能性があります。
Microsoft® Windows Media® Player10で音楽ファイルが同期できない	●付属のUSB対応ケーブルが正しく接続されていますか？ ●パソコン側でMicrosoft® Windows Media® Player 10が正しく動作して本製品を認識していますか？ パソコンを再起動し、本製品を接続してみてください。 Microsoft® Windows Media® Player10 が正しくインストールできているか確認してください。 ●本製品のメモリが不足していませんか？ 本体の不要な曲を削除してください。
ファイルを正常に再生できない	●パソコンに接続しメモリをフォーマットしてください。(76ページ) ●音楽CDデータ転送ソフトや Microsoft® Windows Media® Player10 を使用せずにコピーしていませんか？ 同期によるコピーでないと、著作権保護されているファイルは再生されません。

こんなときは	ここをお確かめください
「保存フォルダ数が上限を超えました」または「保存ファイル数が上限を超えました」というメッセージが表示される	● ファイルのコピー操作などを行ったあとに表示された場合は、フォルダ数またはファイル数が制限を超えています。フォルダまたはファイルを削除してください。 制限値： フォルダ数 50フォルダ ファイル数 400ファイル （MP-S200、MP-S300とも同じ） 上記の制限値を超えるとエラーになります。
外部機器から録音すると、音が小さい／歪む	● 音が小さい場合や、大きすぎて音がひずむ場合は本製品の録音レベルを調整してみてください。（33ページ） ● それでも適正な録音ができないときは、外部機器のヘッドホン端子など、他の出力端子を使用してみてください。 また外部機器の音の大きさを少し小さめに調節してみてください。
パソコンに本製品を接続しても認識されない	● 一度外して、再度接続してみてください。 ● OSがWindows® 98 Second Edition の場合は、USB対応ドライバをインストールしてください。（75ページ）

保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。
   なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
   （イ）本書のご提示がない場合。
   （ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ）火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
   （ヘ）電池の液もれによる故障・損傷。
   （ト）消耗品（ニッケル水素電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ）持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合、出張料はお客様のご負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.）

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋(メールパック:文具店などでお求めいただけます)などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

修理メモ

● 修理のご相談は‥	製品に付属の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
05KSP（TINSJ0875EHZZ）